

MDPRO ミニコラム： 厚生労働省「平成 30 年度 予算案概要」の注目点について

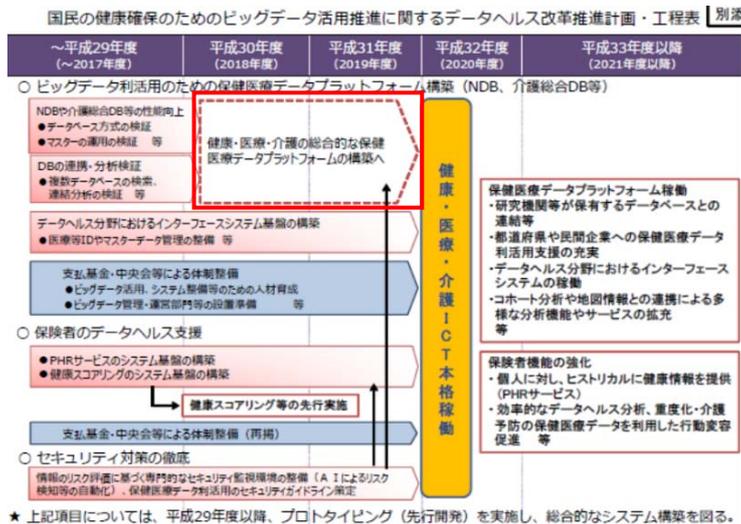
厚生労働省の平成 30 年度予算案概要が年末(12/22)に公開されました。平成 30 年度予算案では重点事項として「1. 働き方改革の着実な実行」、「2. 質の高い効率的な保健・医療・介護の提供の推進」、「3. 全ての人々が安心して暮らせる社会に向けた環境づくり」の 3 点が挙げられています。医療機器業界が大きく関連する項目は「2. 質の高い効率的な保健・医療・介護の提供の推進」となります。その中でも、「保健医療データプラットフォーム」の構築に向けたデータ分析環境の整備等の「データヘルス改革の推進」には注目が必要です(図表 1 参照)。

【図表 1】



平成 30 年度は、「国民の健康確保のためのビッグデータ活用推進に関するデータヘルス推進計画・工程表」に示されているとおり、平成 32 年度の健康・医療・介護 ICT 本格稼働に向けて、健康・医療・介護の総合的なプラットフォーム構築が開始されます(図表 2 参照)。医療機器産業においてもプラットフォームの利用者として必要なデータは何か、どう活用していくかを検討・発信を行っていく必要があると考えます。

【図表 2】



(医療機器政策調査研究所 木村 記)

< 図表出所 >

図表 1: 厚生労働省 平成 30 年度予算案の概要

<http://www.mhlw.go.jp/wp/yosan/yosan/18syokanyosan/dl/01-01.pdf>

図表 2: 国民の健康確保のためのビッグデータ活用推進に関するデータヘルス改革推進計画・工程表

<http://www.mhlw.go.jp/file/06-Seisakujouhou-12400000-Hokenkyoku/0000170005.pdf>